

【レジメン】

day1 ②テセントリク 1200mg/body

day 1,2,3 ⑥,③エトポシド 100mg/m<sup>2</sup>

day1 ⑧カルボプラチン AUC=5

カルボプラチン投与量=AUC x(Ccr xBSA/1.48+25)

※カルボプラチンの最大投与量はAUC×150までとすること。

AUC	2	3	4	5	6
最大投与量(mg)	300	450	600	750	900

Cockcroft-Gault式

$$Ccr(mL/min) = \frac{(140 - \text{年齢}) \times \text{体重}(kg)}{72} \times \frac{1}{Scr(mg/dL)}$$

女性の場合、Ccrに0.85をかける。

上記を3週毎に繰り返す。

※4コースまで実施する。以降維持療法へ切り替える。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 ( / )	<input type="checkbox"/> ① 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ② テセントリク ( ) mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60・30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④ イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	
	<input type="checkbox"/> ⑤ デキサート8mg+ アロキシバグ50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑥ エトポシド ( ) mg+ 生食500mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ⑦ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑧ カルボプラチン ( ) mg+ 5%ブドウ糖液250mL	点滴	治療薬です。	60分
	<input type="checkbox"/> ⑨ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 ( / )	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デキサート4mg+ 生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ③ エトポシド ( ) mg+ 生食500mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day3 ( / )	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デキサート4mg+ 生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ③ エトポシド ( ) mg+ 生食500mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day4 ( / )	<input type="checkbox"/> ① ジースタ皮下注3.6mg (冷所保存)	皮下	好中球減少に伴う発熱を予防します。 ※化学療法終了から24時間以降。	

※テセントリクの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与は30分間まで短縮できる。

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：ロメトクロプラミド ( ) A 静注およびデキサート ( ) mg 静注 ※配合変化のため混合しない  
上記効果が不十分な場合

ロオランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：ロメトクロプラミド1A静注

ロコントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。